



メールでのやりとりや相互訪問で絆を深めるイギリスとの交流

イギリス訪問は、希望者からの選抜制で参加者を決める。「自分の英語力を試したかった」「英語に携わる仕事に就くという、将来の目標に備えて応募した」「異文化を知りたいし、日本の文化も伝えたい」など、生徒によって参加の理由はさまざま。現地や同校の生徒たちが一堂に会したイベント「ジャパンナイト」では活発な交流が生まれ、それぞれの目的を叶える場ともなった。

ここに注目!

韓国の姉妹提携校『崇徳女子高校』からの心あたたまるエールに感動!

姉妹校の提携を結んで以来10年間、交流を続けてきた韓国の崇徳女子高校。国際教育の一環として、高1・高2生を中心とした相互訪問を毎年行っており、わずか5日間の滞在ながら、別れ際には毎回「帰りたくない!」と抱き合う姿が見られるほどに濃密な時間を過ごしています。今回の東日本大震災に際しては、崇徳女子高校の生徒たちから「応援しています」「がんばってください」といった内容の手紙が多く寄せられ、その強い絆を改めて実感した生徒たち。心と心のつながりを通じて、国際交流の意義と目的を、身をもって学んでいるのです。

イギリスの姉妹校「Canon Slade School」とは、1年おきに訪問と受け入れを交互に実施。そのため、イギリス訪問に参加した生徒の中には、昨年にホストファミリーとして迎え仲良くなった生徒の家にホームステイした人も。「再会できたことで、さらに絆を深められたように思います。友人とお互いのホームステイ先を訪問し合っただけで、さらに食事会を楽しむなど、たくさんの思い出を共有することができました」(高1 N・Sさん)



2週間の滞在となるイギリス訪問は「Canon Slade School」の生徒と一緒にテーマパークを訪れたり、同校の生徒だけで観光を楽しんだり、幅広いアクティビティを堪能できるのが魅力。到着後12日間はホームステイで、平日はアクティビティ終了後の夕方以降、週末は丸一日をホストファミリーとともに過ごす。困ったときのために教員の電話番号を知らせているものの連絡は一切なく、「本当の家族のように接してくれた、帰りたくないと思うほどの居心地のよさでした」と話す生徒も。



オーストラリア海外研修は希望制。昨年度は30人の生徒が東海岸の都市ブリスベンへ。現地の語学学校を拠点とし、1週間でさまざまなアクティビティを体験した。現地の人々や語学学校で学ぶ各国からの留学生との交流で、異文化交流の楽しさを実感。



異文化でのコミュニケーションで“伝える素晴らしさ”を実感! 6年間の幅広い国際交流を通じて学ぶ意欲と豊かな人間性を培う

オーストラリアの民族楽器、「ディジュリッド」の演奏も体験。プロの奏者による指導を受けながら、全員でさまざまな課題にチャレンジした。「校長先生が一番楽しんでいました(笑)」と生徒たち。普段には見られない一面垣間見ることで、生徒同士はもちろん、先生との信頼関係を深める機会ともなった。

異文化交流への積極的な姿勢を培うオーストラリア研修

「ホストファミリーにはどのくらい馴染めた?」と聞くと、「3日あれば大丈夫!」と頼もしい答え。「もっと英語力を高めたいと思うようになりました」「少し自立できたし、英語との距離も縮まりました」「夢のなかでも自分が英語を話しているうれしかったです」など、自らの成長も語ってくれた。イキイキとした笑顔からも、その充実度の高さが伝わってくる。



カヤック体験や動物との触れ合いを通じて、オーストラリアの大自然も満喫した。「ちょうどクリスマスの時期だったので、生まれて初めて“夏のクリスマス”を過ごすことができました!」(高1 M・Sさん)



プール学院

「より早い段階で、英語で気持ちを伝えることができる素晴らしさと、伝えようとする気持ちを持つことの大切さを知ってほしい」との思いから、昨年度より中2・中3生を対象としたオーストラリア海外研修をスタートさせた同校。姉妹校である「Canon Slade School(イギリス)」「崇徳女子高校(韓国)」との相互訪問や、高校でのカナダ海外研修などと併せて、今まで以上に多彩な異文化交流を体験できる環境が整いました。「オーストラリアでは現地になじむスピードが早く、中学の段階で海外を経験する意義の大きさを実感しました。学ぶ意欲やコミュニケーション能力だけではなく、精神的なタフさ、他者を理解する心を育む機会にもなっていますね。それらは、勉強や人間関係においてはもちろん、人生においても活かせる財産となるはず!」(国際教育担当・東良恵利先生)